

# Girl Scouts Activity Report

ガールスカウト活動報告 2022.4 ▶ 2023.3

2022年は「日本のガールスカウト運動100周年事業」の最終年として、ビジョン2032の達成に向けて取り組みを進めました。コロナ禍のなか、感染対策に努めながら対面での活動を少しずつ増やし、多くの少女と若い女性にガールスカウト活動を通して成長の場を提供しました。

夏には全国各地で100周年事業「インターナショナルキャンプ」を実施し、年少から年長部門まで数多くの少女が参加し、ジェンダー平等の実現について自分にできることを考える機会を持ちました。

そしてオンラインを活用し、さまざまな場面で少女と女性の声を社会に届けました。

ビジョン2032

ガールスカウトは、  
「すべての少女と女性が自分らしく生きられる社会」を目指して行動する女性を育てます。

社会問題に取り組み、少女と女性の声を届けた数 **3,513人**



少女と女性の力を伸ばした数 **736人**



指導者の育成とスキルアップをした数 **507人**



わたしが変わる。未来が変わる。

ガールスカウトは  
少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指し、  
リーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、  
社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動します。



# 少女と女性たちの声を届ける

ガールスカウトではSDGs目標5「ジェンダー平等の実現」に向けて、少女と若い女性が自身の持つ力を最大限に発揮できるよう、さまざまなプログラムに取り組んでいます。2022年度は彼女たちのことばで日本社会の現状と課題を広く伝えました。

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



## 日本のガールスカウト運動100周年記念事業

### インターナショナルキャンプ“Girls Can Change the World” Camp

中高生年代のガールスカウトたちが5日間「ジェンダー平等」の現状や課題について学び、自分のできることを考え発表しました。期間中は、オンラインで小学生たちに「ジェンダー平等の実現」について伝える機会も持ちました。感染防止に努めながら宿泊で実施したことは、同年代の仲間と生活を共にし関わりあう体験活動の有意義さを、再認識する機会となりました。

テーマ：Discover 100 WOW (100 = one oh oh = wow)

開催地：全国7会場（岩手県・長野県・北海道・群馬県・広島県・長崎県・奈良県）

Term1：8月4日（木）～8月8日（月）4泊5日

Term2：8月11日（木・祝）～8月15日（月）4泊5日

Term3：8月18日（木）～8月22日（月）4泊5日

参加人数：中学生328人・高校生年代231人（45都道府県）

スタッフ人数：101人（30都道府県連盟）

参加海外連盟数：13連盟



### コミュニティアクション チャレンジ100 (CAC100) アワード

身近にいる人々の集まりであるコミュニティ（社会）で起きている問題に対して、少女と女性の視点に立ち、解決につながった優れた活動を表彰しています。2022年度は26件の応募の中から6グループが受賞しました。



コミュニティアクション賞 2グループ

- ・Let's help somebody world with a memory (Pitty)
- ・生理の貧困をなくそう！（大口明光学園に集いし5人の有志たち）

## 社会問題に取り組み行動を起こす

### ガールズメッセ2022

少女と女性が社会問題を解決するために声をあげ、行動を起こした取り組みを紹介する国際ガールズ・デー記念イベントを開催しました。多くの若者たちが問題意識をもって行動を起こしていることを社会に届けました。



秋篠宮佳子内親王殿下よりお言葉を賜りました

10月16日（日）参加人数30人

テーマ：「わたしの声から広がる世界」

第一部：コミュニティアクション チャレンジ100アワード  
表彰式・活動報告  
B-Pアワード表彰式・活動報告  
ジェンダーに関する18～25歳調査報告

第二部：トークセッション

「ジェンダーの不平等を解決できる法律をみんなで考えてみよう」

講師：津久井進弁護士

ゲスト：石井苗子参議院議員



津久井進弁護士



石井苗子議員

## 国際女性デーオンラインイベント

国際女性デーのイベントとして、「18-25歳対象ジェンダーに関する調査」を担当したユース年代のメンバーと参加者が、一緒に考えるオンラインイベントを実施しました。(2023年3月)

テーマ：女の子のイメージはどこから？／生理って恥ずかしいモノなのか  
対象：中学生以上 参加人数：82人

## レンジャー online 事業

### ●レンジャー online 事業 [1]

ジェンダーに関する社会課題を理解し、問題解決の方法を学びました。  
参加人数：高校生年代21人

### ●レンジャー online 事業 [2]

ジェンダーに関する社会課題を解決するために地域でアドボカシー活動をおこない、社会に変化をもたらすことを目的にプロジェクトを計画し活動しました。

取組期間：9月～3月

参加人数：高校生年代12人



## 女性に対する暴力をなくすための活動

女性に対する暴力をなくす運動に賛同し、ガールスカウト会館をパープルにライトアップしたほか、各地のガールスカウトも地域でのライトアップを呼びかけました。(11月)



## 途上国の少女と女性を支援する「歩く国際協力・Walk in Her Shoes」

(公財) ケア・インターナショナル ジャパンが主催するキャンペーンに、全国から高校生のガールスカウト55人がジュニア・アンバサダーとして活躍しました。



## 防災・減災への取り組み

自然災害に備え、自分で自分の身を守ることができるよう取り組んでいます。

防災科学技術研究所と共催で、小学生の親子を対象に親子防災科学教室を実施(2023年3月)し、地震の仕組みや避難について学びました。

参加人数：76人



## 「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」への協力

(一社) 日本損害保険協会が主催する、自分の住むまちを探検しながら防災・交通安全・防犯の視点で気付いたことをマップにまとめるコンクールに参加しました。

【入選】1件



## GE (ジェンダー平等)

### バッジプログラムの普及促進

SDGsの目標5「ジェンダー平等の実現」を達成するために2021年に開発した教育プログラムと成人トレーニングプログラムの普及を促進しました。

バッジ取得数：

・小学生以上対象プログラム オンライン1,016枚、対面266枚

・中学生・高校生対象プログラム オンライン587枚、対面188枚



## B-Pアワード

ガールスカウト活動を通して得た知識・技術を生かし、高校生年代の優れたプロジェクトに対して授与する最高の賞です。

受賞：2プロジェクト

- ・世界の海をCleanに
- ・世界・ジェンダー・夢



## 大好きなわたし ～ Free Being Me



少女の可能性を最大限に伸ばすため、社会で作られたイメージに疑問を投げ、自分の外見を前向きにとらえて自己肯定感を高めるプログラム※です。2022年度はユニリーバ・ジャパン高校生インターシップや企業向け研修をオンラインで実施しました。

※ガールガイド・ガールスカウト世界連盟とDOVE(ダヴ)が協働開発したプログラム

## SDG4教育キャンペーン

教育協力NGOネットワーク(JNNE)「質の高い教育をみんなに」を達成するためのキャンペーンに、

3人の中学生と高校生のガールスカウトが参加し、関係省庁担当者などに提言活動をおこないました。

(4月～5月)



## 少女と女性の力を伸ばす

### 地区シニア事業

全国7地区において「自分のからだを知ろう、守ろう」をテーマにした活動をおこないました。(9月～1月)  
参加人数：中学生 308人

### ガールスカウトカフェ

日本の中高生ガールスカウトが、年上のユース世代や海外のガールスカウトと気軽に話をすることで、参加者同士の情報共有や交流が進み、海外派遣や他県連盟の活動への興味・関心を高める機会となりました。年間6回開催のべ428人参加



## 指導者の育成とスキルアップ

養成したガールスカウトの指導者：1,625人  
開催した指導者研修会：391回

### オンライン指導者研修会

- 性の多様性研修 参加人数：36人
- GEリーダー育成
- ・GEリーダー育成研修(オンライン) 参加人数：322人
- ・GEミーティング(オンライン)2回開催 参加人数：82人

### 海外研修への若者の派遣(オンライン)

- ・第14回アジア太平洋地域会議 正代表2人、オブザーバー3人
- ・ジュリエット・ロー セミナー2022 2人
- ・WAGGGSアドボカシーチャンピオン2023 1人

### 組織運営者のスキルアップ(オンライン)

広報研修会 2回  
参加人数：59人



## 社会への発信

### 『18-25歳対象「ジェンダー」に関する調査報告書2022』発行

若い女性たちは「無意識のうちに影響を受け性別による固定観念を植え付けられているのではないか」「個人差のある身体的理由で生きづらさを感じるのには教育に問題があるのではないか」ということを明らかにするためにユース調査委員会が調査をおこない、報告書にまとめました(制作協賛：マイクロン財団)。  
8月、10月、3月には報告会をおこないました。



### 「ガールスカウトの日」のキャンペーン

ガールスカウトの日(5月22日)を中心とした5月に、全国で地域や一般の方に「私たちの世界、私たちの未来」をテーマとした活動をおこない、各団のSNSや日本連盟の特設サイトにその様子を掲載しました。



### ジェンダー平等を実現するための社会への働きかけ

外部イベントや研修会の講師として、ユース年代を中心としたガールスカウトが、ジェンダー平等の実現へ向け、社会の課題について講演や報告をしました。  
登壇回数：8回  
登壇人数：のべ14人



日本・モンゴル学生フォーラムに登壇

## 公益社団法人 ガールスカウト日本連盟

〒151-0066 東京都渋谷区西原1丁目40番3号  
TEL.03-3460-0701 FAX.03-3460-8383  
E-mail : gsj@girlscout.or.jp URL : www.girlscout.or.jp

